

1. 学校の安全対策について

一昨日、「子ども安全の日の集い」を開催しました。有山楓さんの尊く幼い命が奪われるという事件から、今年で19年が経ちます。この集いで、有山楓さんの冥福を祈るとともに、改めて事件を風化させてはならない、二度とこのような事件を起こさせない、ということ、参加者一同で確認しました。

今年も、奈良学園大学の松井先生に「学校安全の教訓を伝承し、次代の命へとつなぐ学校危機マネジメント」と題して、ご講演いただきました。

講演の中で、「航空機事故が発生する確率は485万回に1回といわれており、事故確率が極めて低いことから、事故が起きることはほばないだろうという根拠がある安心感につながっている。しかし、今日、学校に不審者が侵入して事件が発生することはないだろう、というのは、根拠のない安心感である」と話されました。

航空機事故の発生率がきわめて低いのは、整備士のチェックや事故発生時を想定した訓練が日々行われているからです。学校も、安全対策を怠らず、根拠のある安心感を作り上げていってください。

昨年度の3月末に発生した戸田市での事件を受け、学校の危機管理マニュアルについて、国の調査が実施されました。本市では、昨年度末時点において、危機管理マニュアルは全ての学校で策定され、ほとんどの学校で不審者の侵入に関わる防犯対策について、明記されていました。

しかし、防犯対策のうち「3段階チェック体制」*1を含めた内容になっているのは、昨年度末の調査では、65校中わずか9校でした。危機管理マニュアルを見直し、各学校の環境に応じた不審者のチェック体制を構築してください。

*1 「3段階チェック体制」

- (1) 校門の施錠管理や利用時間の指定
- (2) 校舎までの間で来訪者の誘導や死角の排除
- (3) 校舎入口での来訪者確認や名札の着用

2. 奈良市総合防災訓練について

10月29日（日）に、「奈良市総合防災訓練」が行われました。市内70会場に、市民（5,450人）や防災関係機関（200人）、市職員（3,169人）など、のべ9,086人の参加がありました。

災害はいつ起こるかわかりません。先ほどの不審者対応の話と同様に、災害発生時を想定し、繰り返し訓練を実施することが必要です。実際に災害が発生した場合の地域の方との協力体制について、マニュアルに記載されているか、再度、確認をお願いします。

避難所が開設された学校においては、運営や準備等でご協力いただき、ありがとうございました。

3. 学校訪問を通して

10月半ばから、小中学校10校を訪問し、学校長と面談するとともに、子どもたちの様子や運動会の様子を見学しています。

いずれの学校も、子どもたちが元気よく挨拶ができ、落ち着いて学習に取り組むことができていると感じました。また、校内の環境整備も行き届き、掲示物も綺麗にさせていただいているところを見させていただきました。

運動会では、コロナ禍以降、子ども主体のコンパクトなものとして、仲間と楽しく取り組めるように、開催形態や競技が工夫されていました。授業では、目の前の子どもたちにきめ細かく指導され、支援を要する子どもへのサポート体制や、特別支援学級では、課題ごとの教材を作成されているところなどを見せていただきました。

一方で、従来型の一律・一斉・一方向の学びとなっている授業も見受けられました。板書する場面でも、タブレットを活用し、写真を撮るなどの発想の転換が出来ないものかと感じました。

本市でGIGAスクール構想がスタートして3年が経過します。「教員が活用する事例」「子どもたちが活用する事例」「データを活用する事例」を教育委員会でも蓄積したり、校長先生間で情報交換されたり、新しいアプリ等も紹介したりしています。今後、更に、誰もが使えるような体制を整えてください。

ある学校では、子どもの意見を集める際、紙媒体で提出させて、教員が回収する場面を目にしましたが、タブレット端末に入力させ共有すれば、データとしても残り、後から振り返ることもできるのでした。教員が、実践や校内研修等を通して、「教育データとして活用することの強み」を認識し、自分の授業や指導のあり方を見直すきっかけにしてください。

校長先生が、日ごろ授業参観をする際も、何となく見るのではなく、こうした視点を持って観察してください。自らの指導方法をシフトチェンジするには、エネルギーと時間が必要です。校長先生自らが変革を恐れず、チャレンジするリーダーとして、学校を引っ張ってください。

今年も残り1ヶ月半となりました。

今週に入って急に寒くなり、インフルエンザによる学級閉鎖が多くなってきました。先生方はもちろん、子どもたちの健康管理について、十分気を配っていただき、健康・安全で、充実した学校生活を送れるよう、よろしくお願いします。